

市政運営の3つの基本理念に基づく重点事業について、その一部を抜粋して紹介します。

# 令和8年度 主な事業を紹介

未来へ羽ばたく  
まちづくりに  
取り組みます!



市HPで主要な施策・事業の説明資料を公開しています。



1

子ども・若者、  
子育てにやさしい  
まちづくり

## 特定教育・保育所等支援事業

一部新規・拡充

予算額：33億2,876万1千円



これまで試行的事業として実施してきた子ども誰でも通園制度を本格実施し、すべての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルに合わせて柔軟に利用できるよう支援します。

## 子どもまんなか推進事業

PICK UP

予算額：56万2千円

子どもの権利条例の普及啓発に引き続き取り組むとともに、令和7年度に開設した「子どものいけんぼこ」で寄せられた声を、市政に活かす仕組みの定着を図ります。

また、夏休み期間における小・中学生のフラワー号運賃無料化についても実施します。



## 地域子育て支援事業

一部新規・拡充

予算額：5,378万2千円



川里ひまわり保育園子育て支援センターを週7日開設するなど、機能を拡充するとともに、マザーズハローワーク大宮と連携し、育児と就労の両立を支える新たな支援を開始します。

## 吹上地域保育園等 新設整備事業

予算額：7億4,804万1千円



老朽化が進む保育所や児童発達支援センターの機能を統合し、地域子育て支援拠点機能を有する複合施設として、令和10年4月の開所に向けた建設工事に着手します。

## 小学校ふれあいサポート事業

一部新規・拡充

予算額：8,034万5千円



特別支援学級や通級指導教室を増設するとともに、医療的ケアが必要な児童の入学に備えて看護師を配置します。

# 2

くらしやすさを  
実感できる  
まちづくり

## 地域防犯体制支援事業

一部新規・拡充

**PICK UP**

予算額：2,432万5千円



個人や地域の防犯力強化を目的に、国の物価高騰対策の交付金を活用し、住宅や店舗での防犯設備(防犯カメラやセンサーライトなど)の購入・設置費用に対し補助を継続するほか、高齢者や障がい者について2回目の申請を可能とします。

また、自治会・町内会が地域内に設置する防犯カメラの導入費用を4分の3(上限20万円)支援する制度についても引き続き実施します。

## 家具転倒防止器具等設置促進事業

一部新規・拡充

予算額：210万8千円



家具転倒防止器具等の購入・取付に対する補助を実施し、高齢者世帯や障がい者世帯は2回目の申請を可能とするなど内容を拡充します。

## 防災訓練事業

一部新規・拡充

予算額：211万6千円



「防災訓練事業」では、民間のノウハウを取り入れ、市民参加型の避難所開設訓練を新たに実施し、防災意識の高揚と知識の向上を図ります。

## 母子健診事業

一部新規・拡充

予算額：1億603万円



産後うつ予防や早期の支援につながるため、産婦健康診査の助成回数を拡大し、妊娠期から子育て期までの伴走型支援の充実を図ります。

## 鴻巣駅東口エレベーター整備事業

予算額：3,247万3千円



▲エレベーターイメージ

高齢者、障がい者および子育て世代の方々も含め、鴻巣駅のすべての利用者の利便性を高めるため、駅東口に接続するエレベーターを整備します。

## 公共交通維持事業

予算額：1億5,577万2千円



令和9年度を始期とする「鴻巣市地域公共交通計画」を策定し、移動への不安を軽減しつつ、持続可能な公共交通を展開していきます。

## 小・中学校給食運営事業

一部新規・拡充

予算額：11億192万6千円



令和8年度から小学校の給食無償化を開始するほか、中学校では食材費高騰分を補助することで保護者の負担軽減を図ります。

## 道の駅整備事業

予算額：12億8,322万2千円



▲道の駅完成イメージ図

地域産業の振興と地方創生を実現するための拠点として整備を進める道の駅について、建築工事に着手するほか、引き続き、土木工事やアクセス道路の工事を行います。

## こうのす空・花クーポン券 2026事業

新規

予算額：4億6,293万1千円



エネルギー、食料品等の物価高騰に伴い影響を受けている市民と原材料費等の価格高騰の影響を受けている市内事業者を支援し、地域経済の活性化を図ります。<関連P10>

3

SDGsの深化による

持続可能な

まちづくり

## SDGs 推進事業

一部新規・拡充

PICK UP

鴻巣市SDGs未来都市計画に基づき、市民・事業者・行政等が連携し、SDGs視点による地域課題の解決を図る取組を実施します。

「EXPO 2025 大阪・関西万博」のレガシー等を活用し、市役所本庁舎1階に「SDGs推進啓発コーナー」を設置することで、市やこうのとりSDGsパートナーである企業・団体の取組を紹介し、SDGsに対する理解の促進と行動変容へとつなげます。

また、SDGs未来都市としての取組と地域資源や魅力の発信のため、今年9月に東京ビッグサイトで開催予定の内閣府主催による「地方創生SDGsフェス2026」への出展を予定しています。



▲大阪・関西万博における「地方創生SDGsフェス」の様子

予算額：969万1千円

▼「こうのとりSDGsフェスティバル2026」の様子



## 公共施設等マネジメント事業

一部新規・拡充

予算額：71万7千円



最適な公有財産の保有・利活用・処分によるファシリティマネジメントを推進するとともに、施設の有効な利活用策や効率的な維持管理に関する提案を民間事業者から募集します。

## 空き店舗対策事業

一部新規・拡充

予算額：485万円



市内の空き店舗を活用する事業者や、貸し出し可能にするため改修を行う所有者に交付する補助金を増額し、商店街等の空き店舗の解消とにぎわい創出につなげます。

## エコな住環境づくり事業

一部新規・拡充

予算額：1,802万9千円



市民の皆さんが環境問題に関心をもち、環境負荷の少ない住環境づくりに取り組むことを支援するため、住宅用省エネルギー設備設置や省エネ性能の高い家電製品への買換えに対して補助金を交付します。